

川内川下流改修 に係る要望書



令和 7 年 7 月

川内川下流改修促進期成会

川内川下流改修について

川内川河川改修につきましては、かねてから格段の御高配を賜り、川内川下流域住民一同心から感謝申し上げます。

平成18年7月の鹿児島県北部豪雨災害により採択された川内川河川激甚災害対策特別緊急事業が平成25年に完成し、また、平成28年出水期から治水効果が発現し、平成30年に完成いたしました鶴田ダム再開発事業につきましても、国土交通省をはじめ関係各位の御支援・御尽力に、心から感謝申し上げます。

さらに、令和3年7月の豪雨により薩摩川内市の中心市街地が浸水したことを受け、排水機場の操作の連動・集約化や遠隔化など、施設の改修及びシステムの構築を鋭意推進いただいていることに、重ねて厚く感謝申し上げます。

さて、近年においては、全国的に線状降水帯や大型台風による大規模な自然災害が頻発しており、川内川においても令和2年、令和3年と豪雨に見舞われ、令和4年9月には台風14号が記録的な勢力を保ったまま九州に上陸するなど、自然災害に対する住民の不安は高まってきています。

現在、天辰第二地区まちづくり一体型引堤事業や高潮対策事業等河川整備が実施され、治水安全度の向上が図られているところですが、今後も、豪雨災害等様々な自然災害に備えるため、改正国土強靱化基本法に基づき、国土強靱化への取組を着実に推進していく必要があります。

また、気候変動の影響により今後、激甚化・頻発化する豪雨災害に備え、国・県・市町等のあらゆる関係者が協働し、河川における治水対策や浸水被害軽減対策などのまちづくり・ソフト施策を総合的に進める「川内川水系流域治水プロジェクト（令和3年3月策定）」を推進していく必要があります。

一方、川内川下流域の活力ある発展には、治水のみならず、潤いと安らぎのある、快適な河川空間の整備が必要不可欠であり、治水安全度の向上と快適な河川空間を実現する環境整備の両立が求められています。

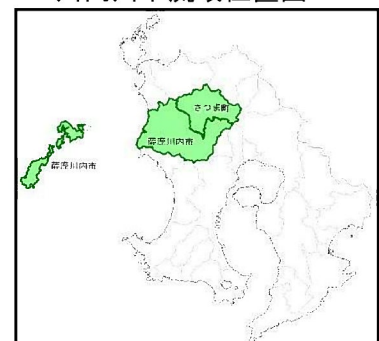
当期成会としましても、円滑な事業の促進を図るため、地元との諸調整など、積極的に協力する所存でございますので、実情を御賢察の上、次の重要事項の早期実現に特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

令和 7 年 7 月

川内川下流改修促進期成会

会 長 田 中 良 二

川内川下流域位置図



- 1 堤防の整備などのハード対策と、避難計画の充実や危機管理体制の構築などのソフト対策は、防災対策の両輪であり、水害に強い地域づくりを実現するためには必要不可欠なものである。

については、「川内川水系流域治水プロジェクト」に基づく取組みについて、実効性のあるハード・ソフト対策の充実・強化に取り組んでいただきたい。

- 2 九州地方は自然災害の常襲地帯であり、気候変動により更に激甚化・頻発化が想定される豪雨などに備え、河川整備基本方針及び河川整備計画の見直しを推進し、治水安全度の更なる向上を図るとともに、地域発展等へのストック効果も期待される河川事業について、着実かつ強力に推進していただきたい。

また、事業の実施に当たっては、地域住民の意向を十分に反映していただくとともに、令和6年8月に変更登録された新たな「川内川水系かわまちづくり計画」に基づき、まちづくりと一体となった潤いと安らぎのある河川空間の整備及び更なる利活用に向けた支援を関係機関連携のもと推進していただきたい。

- 3 災害を未然に防止、軽減する事前防災対策が重要であることから治水事業の予算の全体枠を拡大するとともに、川内川下流部の河川改修、高潮対策事業及び環境整備事業を推進するに当たって、物価・人件費の高騰による影響も考慮の上、必要な予算を当初予算において確保していただきたい。

また、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を確実に推進し、さらに本年6月に策定された第1次国土強靱化実施中期計画に基づいて「5か年加速化対策」後も、切れ目なく継続的・安定的に国土強靱化に必要な予算・財源を別枠で確保していただきたい。

- 4 排水機場、水門・樋門等については、適切な維持管理と老朽化した施設の計画的な改修・更新を進め、これら施設の機能を確実に保持するとともに、危険を伴う河川の水門・樋門及び排水機場の遠隔操作や完全自動化を推進していただきたい。

- 5 国土交通省の事務所・出張所は地方公共団体等の窓口でもあり、災害時には現場の最前線で復旧作業を行うなど、非常に重要な役割を担っていることから、より一層の人員の確保・管理体制の強化を図られたい。

重要要望事項

◇薩摩川内市

1 川内市街部改修

土地区画整理事業と一体となった^{あまたつ}天辰第二地区まちづくり一体型引堤事業の推進及び地域の意見を反映した河川環境整備

2 ^{ぐ み ざき}久見崎地区の高潮対策の早期完成

3 排水機場、水門・樋門等の適正な維持管理と老朽化した施設の計画的な改修・更新を進め、機能を確実に保持していただくとともに、水門・樋門などと連動した排水機場の遠隔化・完全自動化の早期実施

4 ^{とうごう おのぶち くすもと}東郷（斧渚・楠元）地区の河川改修事業の早期実施

5 市街部における浸水対策への支援

6 特定都市河川に指定された^{くまのじょう}隈之城川流域に係る流域水害対策計画の早期策定

◇さつま町

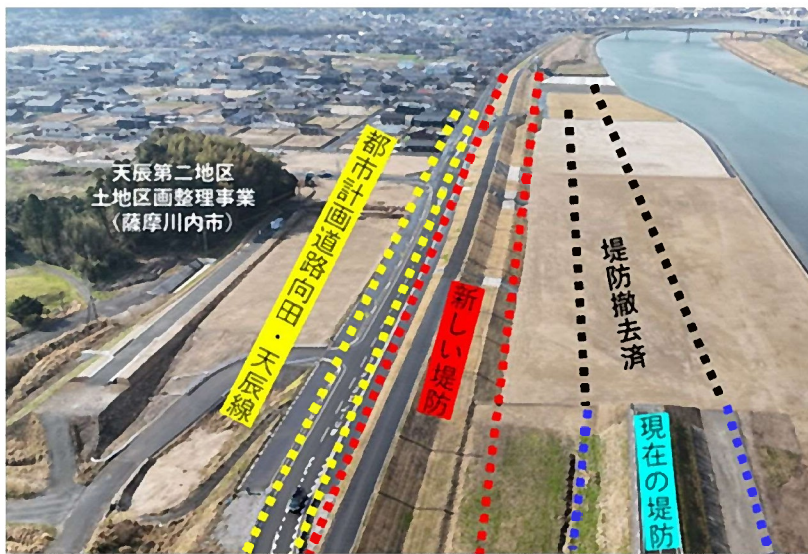
1 川内川水系かわまちづくりの推進

ホテルを観光資源とした環境整備事業^{ときよし}（時吉地区）の早期実施と、ホテルなど生物の生息環境の保全推進

2 ^{とら い}虎居地区の内水対策（排水機場等）の早期整備

3 ^{みやのじょう や ち}宮之城屋地地区の鹿児島県が実施する急傾斜地崩壊対策事業と一体となった河川整備事業の早期完成

あまたつ
《薩摩川内市：土地区画整理事業と一体となった天辰第二地区まちづくり一体型引堤事業の推進》



《薩摩川内市：排水機場、水門・樋門等の適正な維持管理と老朽化した施設の計画的な改修・更新を進め、これらの施設の機能を確実に保持していただくとともに、水門・樋門などと連動した排水機場の遠隔化・完全自動化の早期実施》

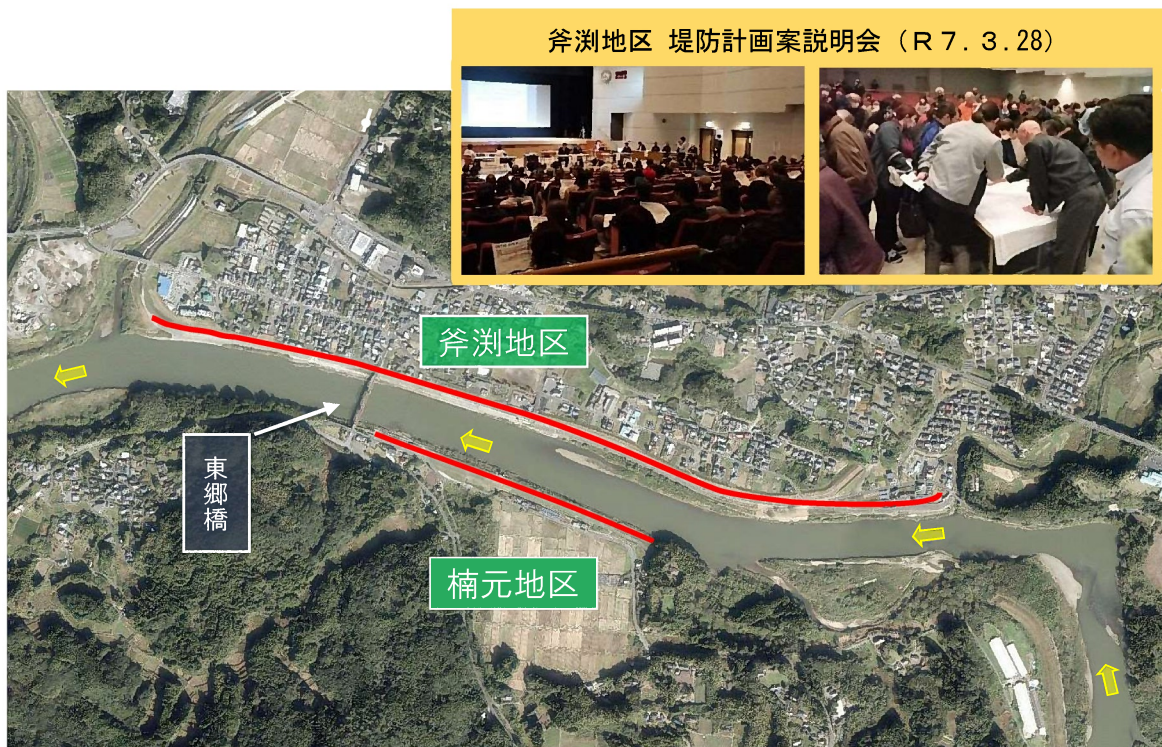


【向田排水機場の遠隔操作訓練状況 R 5. 6. 5】

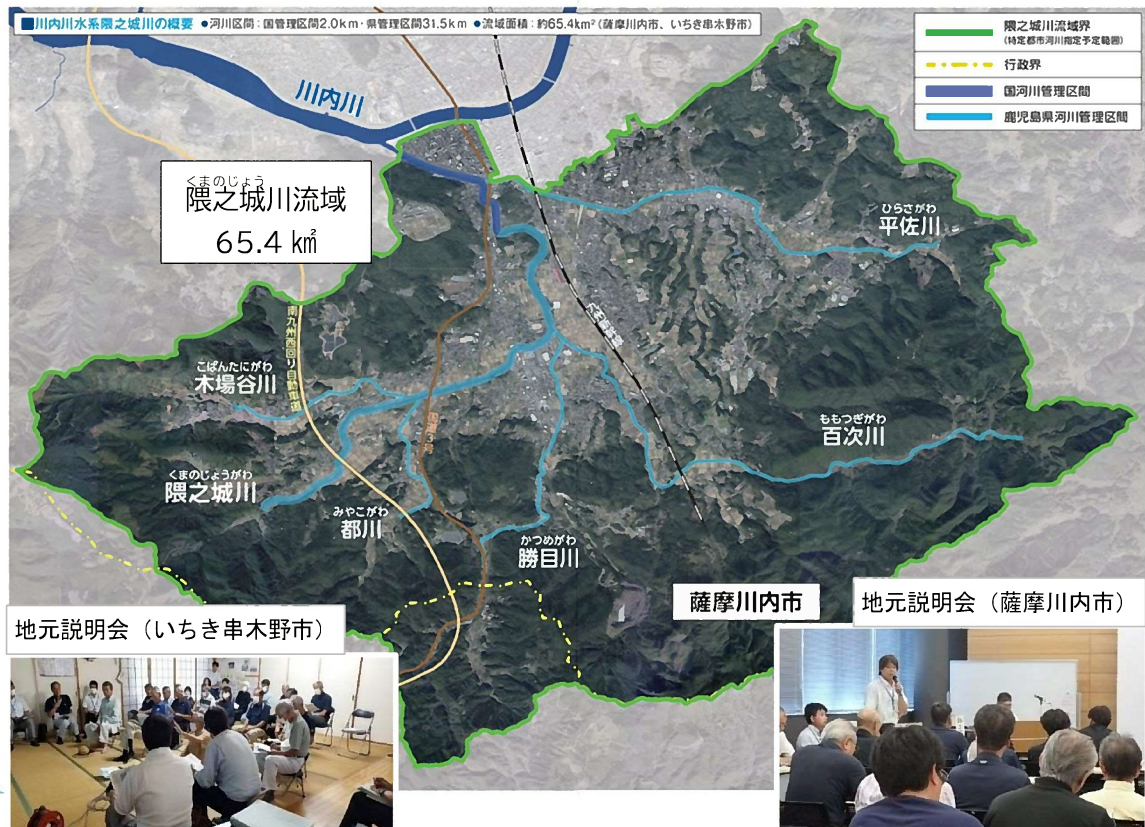
ぐみざき
《薩摩川内市：久見崎地区の高潮対策の早期完成》



とうごう おのぶち くすもと
《薩摩川内市：東郷(斧淵・楠元)地区の河川改修事業の早期着手》



くまのじょう
《薩摩川内市：特定都市河川に指定された隈之城川流域に係る流域水
害対策計画の早期策定》



ときよし
《さつま町：ホタルを観光資源とした環境整備事業（時吉地区）の
早期実施とホタルなど生物の生息環境の保全推進》



とらい
《さつま町：虎居地区の内水対策（排水機場等）の早期整備》



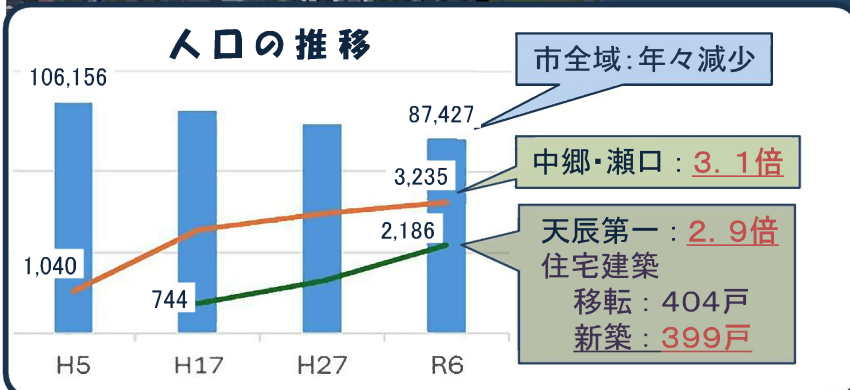
みやのじょう や ち
《さつま町：宮之城屋地地区の鹿児島県が実施する急傾斜地崩壊対策事業と一体となった河川整備事業の早期完成》



川内市街部改修事業(引堤事業)

治水安全度の向上と連携事業による市街部の発展

- 中郷地区、瀬口地区、天辰第一地区及び大小路地区などの市街地では まちづくり(土地区画整理事業等)と連携した引堤事業により、**治水安全度が向上**
- 市の人口は減少傾向であるが、まちづくり一体型引堤事業を実施した地域では**人口が増加中**(事業開始時に比べて約3倍に増加)
- 天辰第二地区まちづくり一体型引堤事業も **まちの発展につながるものと期待**(天辰第一地区では、住宅の新規建設が事業開始時より 約400戸増加)
- 大小路地区、天辰地区の河川空間の整備により、多様なイベント開催など、新たなにぎわい創出による**交流人口の拡大及び定住人口の増加**に期待



天辰地区かわまちづくり事業
整備状況 (R7.3.)



『平佐西かわまちづくり協議会』
(R7.3.18)

激特事業による治水安全度向上

◆治水対策と一体でまちづくりを実施。

- さつま町の中心を流れる川内川沿いには家屋等背後資産が集中
- 近年では平成18年7月の梅雨前線により、川内川流域において記録的な豪雨をもたらし、川内川全域で大規模な被害が発生。**さつま町では特に甚大な被害を被った。**
(H18.7: さつま町 床上850戸、床下89戸、合計939戸)
- 平成18年7月洪水後の激特事業において、「推込分水路」と「上下流の河道掘削」により上流宮之城地区の水位低下を図り、併せて堤防を整備することで、平成18年7月洪水の外水氾濫による家屋の浸水被害を解消。



<激特事業実施前> 開催イベント

「泳ぎ初め」参加者: 約100名



「魚のつかみ取り大会・川流れ・飛び込み」参加者: 約200~300名



激特事業実施後

激特事業後新たに開催されているイベント
参加者: 約750名

「虎居でディアスロンにTRY」
参加者: 約50名

「せんで川ウォーキング」
参加者: 約200名

「盈進小学校の持久走大会」
参加者: 約500名

効果

新規開催イベント

「虎居でディアスロンにTRY」



「せんで川ウォーキング」



「盈進小学校の持久走大会」



ストック効果

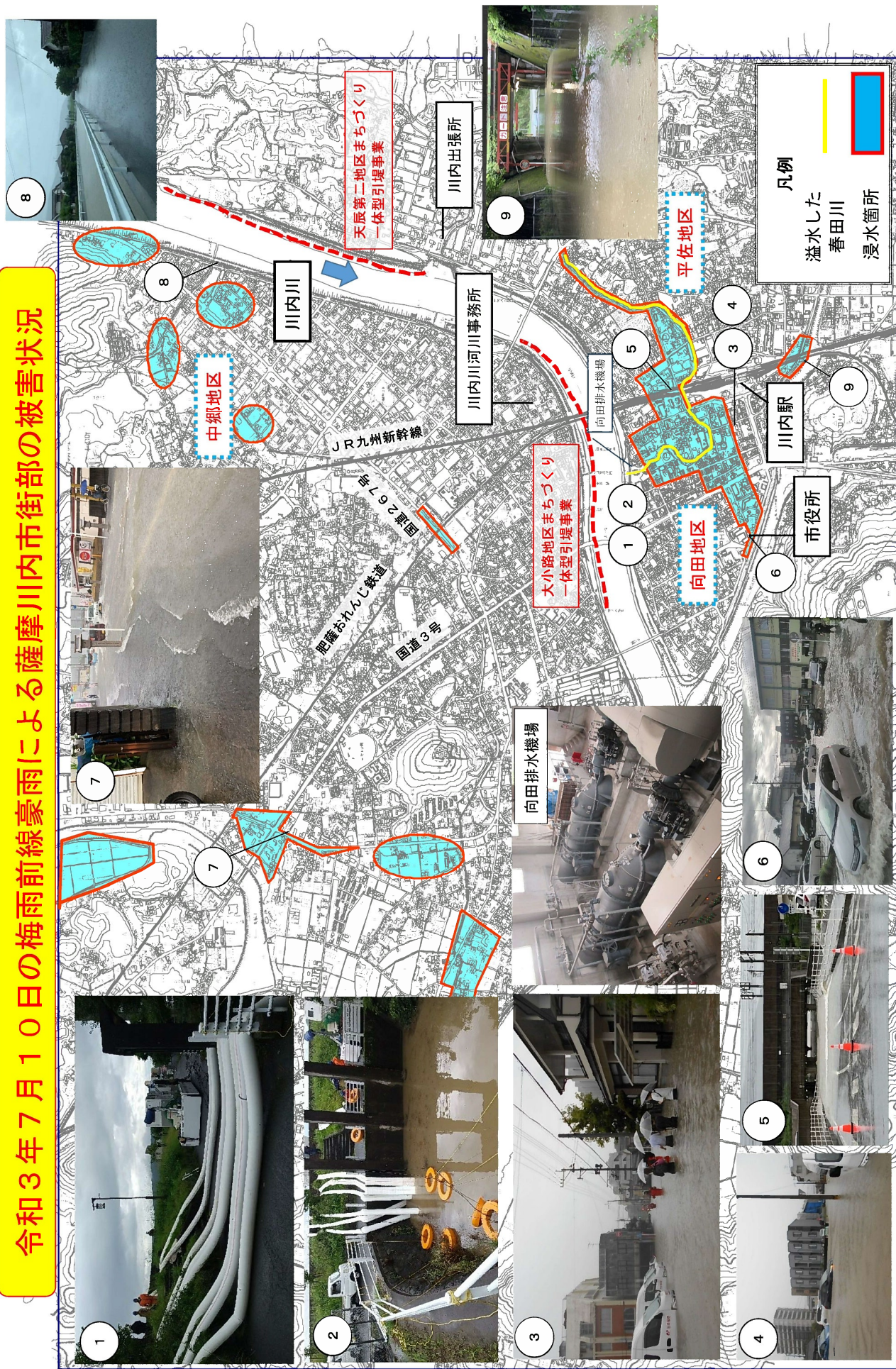
川内川水系かわまちづくり計画

薩摩川内市・さつま町予定箇所位置

令和3年3月、令和6年8月「かわまちづくり計画」変更登録

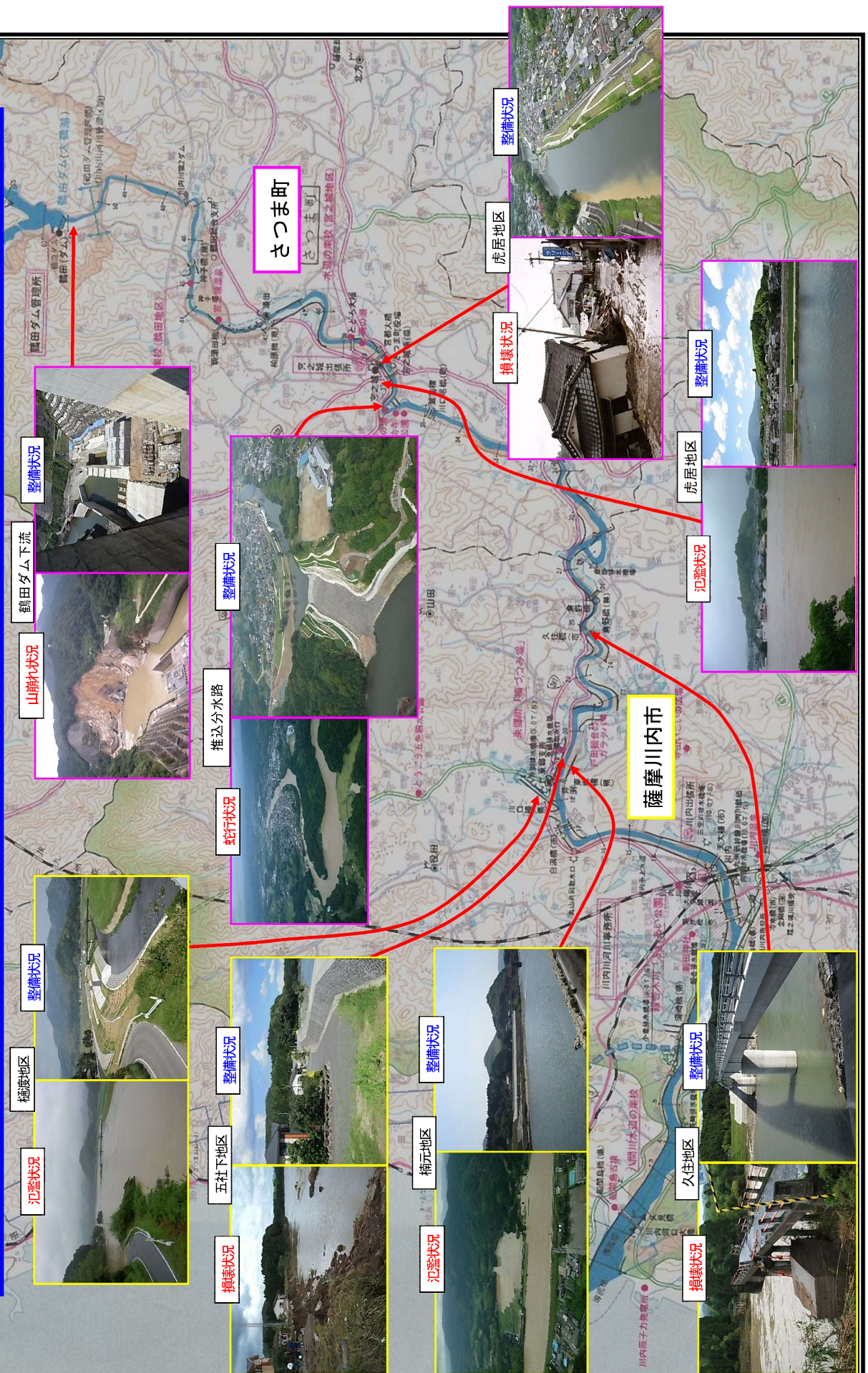


令和3年7月10日の梅雨前線豪雨による薩摩川内市街部の被害状況



※浸水区域については、現地調査、住民からの情報提供を基に薩摩川内市が作成したものです。

鹿児島県北部豪雨災害（H18. 7. 19～24）の爪痕と整備状況（参考）



川内川下流改修促進期成会役員名簿

会 長 薩 摩 川 内 市 長 田 中 良 二

副会長 さ つ ま 町 長 上 野 俊 市

監 事 薩摩川内市議会議長 下 園 政 喜

// さつま町議会議長 新 改 秀 作

顧 問 鹿児島県議会議員 外 園 勝 蔵

// // 鶴 園 真 佐 彦

// // 内 田 一 樹

// // し ら い し 誠